

市立病院では、皆さまの健康を守るため最新医療を行っています。

マルチスライスCT検査

コンピューター断層撮影のことで、その中でも最新の機器となっています。



単に断面画像としてではなく、3次元画像として表示されるため、病気の解析が今まで以上に向上しました。



消化器病センターの開設

市立病院では、消化器病センターを開設し、専門スタッフによる治療を行っています。また、患者負担の軽減のため下記の検査・手術方法を取っています。

①鼻孔内視鏡検査

内視鏡による検査は、内視鏡を口から挿入していますが、内視鏡の飲み込みが難しいことから、負担軽減を図るため、鼻孔からの挿入も行っています。

②内視鏡検査と手術

開腹手術は、体力負担や術後の回復に時間がかかることから、内視鏡による検査や手術を行っています。

大学病院への紹介

大学病院との医療連携が確立されているため、市立病院からの紹介により、重複検査を避け、スムーズに受診することができます。

改革プランで実施または取り組んでいる内容

○経営改善の推進

- 脳神経外科医1名の確保 ■消化器病センターのPR
- DPCの導入 ■病理検査・細胞検査の受け入れ
- 職員給与の削減 ■特殊勤務手当の見直し
- 未収金対策（個別訪問強化・連帯保証人への文書発送）
- 電力契約の変更による燃料費の削減
- 複数年契約による経費の削減
- 不採算医療(救急・小児・周産期)に対する市からの繰り入れのルール化
- 給食業務の外部委託 ■薬品の安価な購入
- 後発薬品の採用拡大

○柔軟で意欲の高い組織作り

- 医師採用の多元化 ■事務の専門職化
- 一部2交代制の導入 ■職場提案制度の導入
- 職場目標の設定と点検 ■自主研修制度の導入
- 地域医療連携パスの検討 ■その他

○患者中心の医療の推進

- 開放病床と高度医療施設の利活用
- クリニカルパスの拡大 ■地域医療連携室の強化
- 市民への病院PR ■その他

全職員一丸 となつて、 経営改革を 進めています



留萌市立病院院長 笹川 裕

昨年度は、留萌市立病院の経営改革について、議論を重ね「留萌市立病院改革プラン」の策定に取り組み、計画を一部先行実施してきましたが、今年度は、そのプランを本格的に実施に移す年となりました。この間、多くの市民の

皆さまから市立病院の経営に関し真剣にご議論いただき、心から感謝申し上げます。

市立病院は、地域の中核病院として市民の命と健康を守ることを目標とし、「地域に根ざした信頼される病院をめざします」を理念に運営しておりますが、まだ十分な状況とはなっておりません。特に医師や看護師不足は依然として改善されていない状況にあり、マンパワーの確保が急務となっております。

現在、医師確保や看護師確保のため、各大学や看護学校を訪問し、医療従事者の確保に奮闘しておりますが、全道的な医師不足、看護師不足の中で、満足できる医療

スタッフの確保は、大変厳しいものがあります。しかし、現状に屈することなく、大きな壁を砕き、前へ進んでいかなければ今の状況を変えることはできません。

私はその先頭に立ち、全職員一丸となって頑張っていく覚悟でございます。

病院改革プランの今年度からの本格実施を迎え、職員一同、身の引き締まる思いであります。また、市立病院の経営は、収益が増えなければ経営改善につながりませんが、そのためには、循環器、脳外、呼吸器科医師などを早急に確保し、皆さまが安心して受診いただける体制づくりを進めています。